

(参考)鳥取型防災教育実践モデル校の取組状況について

平成24年1月 / 鳥取県危機管理局消防防災課

子どもたち一人一人が自然災害を正しく理解し、災害時に自らの判断で的確な防災・減災行動が取れるよう、また、地域防災力の向上へつなげるため、昨年度から防災教育実践モデル校を選定し、体系的な防災教育の推進に重点的に取り組んでいます。

平成23年度の取組状況については、下表のとおりです。

対象校	県内で3校を選定 ・鳥取市立明德小学校（東部） ・倉吉市立高城小学校（中部） ・大山町立大山西小学校（西部）
実施回数	年4回以上
実施計画	年間を通じ、関連する教科及び学校行事において実施
実施方法	・鳥取大学への委託により、鳥取大学の教授等が学校を訪問して実施。 ・学校教員が、鳥取大学から学習の進め方等について指導・助言を受けて実施。
内容例	<ul style="list-style-type: none"> ・1年（学級活動）防災 ×クイズ ・1・2年親子（運動会）防災関連競技の実施 ・2年（生活）起震車体験 ・3年（国語）防災川柳づくり ・3年（保健）応急手当について ・4年（図工）ペットボトルランタンづくり ・4年（社会）水害について ・5年（理科）水害について ・5年（体育）着衣水泳 ・6年（理科）地震について ・6年（図工）紙ぶるるを作ろう ・職員（職員研修）防災教育とは ・全児童、保護者、住民（学校行事）地域と連携した避難訓練 ・全児童、保護者、住民（地域行事）地域防災訓練、非常食体験 <p>【協力機関】 公民館、消防署、日本赤十字社、市町村、その他防災機関等</p>